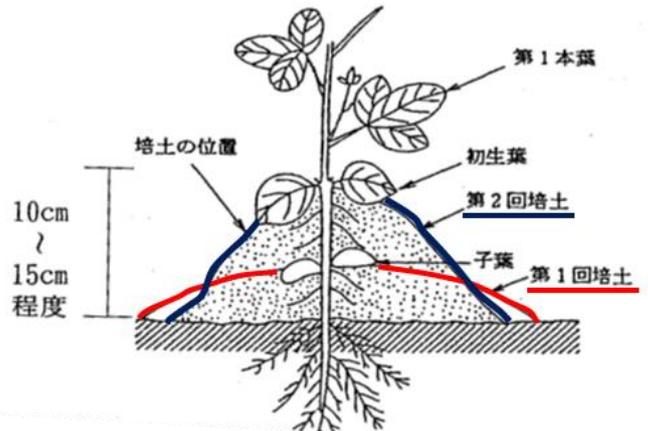


中耕・培土を適期に行い、生育を促進しましょう！

断続的な降雨の影響で播種は遅れたものの、その後の生育は、順調に推移しています。高品質・安定多収に向けて、**適期中耕・培土を行い、生育の促進と雑草防除を両立しましょう。**

適期中耕・培土で生育促進

- ◎生育を促進させるため、中耕・培土作業に入りましょう。培土の時期は**1回目が3葉期、2回目が6～7葉期**が基本です。
- ◎雑草の発生が目立ってきています。遅れずに中耕・培土を行いましょう。



除草剤は雑草の種類に応じて適期散布

- ◎大豆の生育期に使用できる除草剤を選ぶ際には、雑草の種類（イネ科、広葉）、大豆の葉齢、雑草の葉齢・草丈などの確認が必要です。時期を逃さないよう適期散布を心がけましょう。
- ◎除草剤は**使用基準をしっかりと確認し、適正に使用**しましょう。使用方法が雑草茎葉散布（畦間・株間処理）の除草剤は 専用ノズルを使用し散布します。

帰化アサガオ類の防除は早期発見と早期対策が特に有効

- ◎管内で帰化アサガオ類の発生が確認されています。**早期対策で拡大させないことが重要**です。

【帰化アサガオ類防除のポイント】

- ① 大豆を健全に生育させ、雑草との競合力を高めることが基本。
- ② 大豆が繁茂し条間を覆う頃まで、概ね2週間ごとに防除（除草剤、中耕・培土）。
- ③ つるになる前に手取りする。
- ④ 畦畔や農道などほ場外からの侵入を防止する。
- ⑤ 作業機械に付着した種子による他圃場への拡散に注意する。



マルバルコウ



マメアサガオ



アメリカアサガオ



マルバアサガオ

農作業事故と熱中症に要注意！ 声をかけ合い農作業事故を防止しましょう！

複数人での作業実施、施設や道具の点検、転落防止のための対策などを徹底しましょう。また、こまめな休憩と水分補給、ゆとりを持った無理のない作業を心掛けましょう。



<http://agrin.jp/> 会員登録を！

農業に役立つ情報がいち早く得られます。
会員登録でより詳細な情報が得られます。

